

トビイロウンカによる坪枯れに注意！

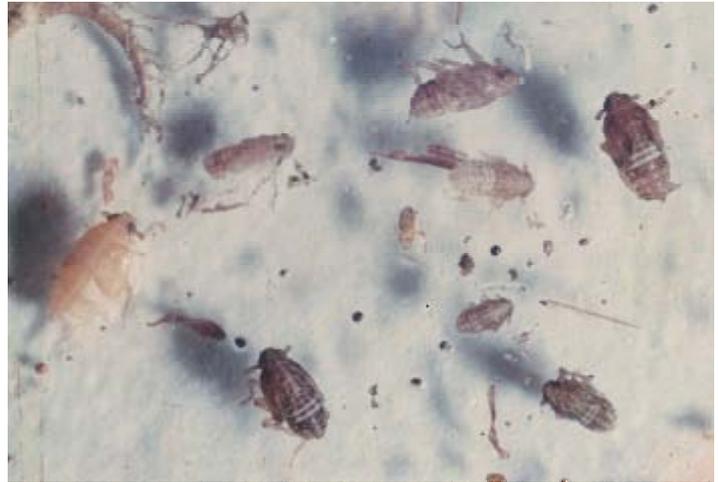
(8月4日臨時情報第1号 発表中)

☆トビイロウンカ



長翅成虫

短翅成虫 (増殖型)



払い落とし調査の幼虫

本年の主飛来は7月18日で過去10年間で平成15年に次ぐ大量飛来でした。

8月8～10日の巡回調査では、寄生虫数1.9頭/50株、発生圃場率23.1%で平年に比べて多い状況です。調査時のステージは3～4齢幼虫（第1世代）がほとんどで、5齢を経過して成虫になるのは8月20日前後と思われます。また、向こう1か月の気温は平年並みか高い見込みで、トビイロウンカの増殖には好適な条件が続きます。

(参考) 7月下旬：寄生虫数 0.6頭/50株、すべて成虫、(平年0.1頭 H10除く)
発生圃場率 24.1% (平年10.1%)

第2世代若中齢幼虫期の防除は、第1世代老齢幼虫～成虫期に寄生成幼虫が1頭/株以上が必要です。払い落とし調査の捕獲効率は50%と考えて防除要否を判定してください。

今年は主飛来が遅かったため、例年に比べ発生ステージが遅れています。収穫期に近い防除も考えられるので、薬剤の選択には使用時期（収穫前○×日前まで）に注意して、農作物病害虫雑草防除指針に基づき適切に行ってください。

※注意報（8月15日現在）：福岡、熊本、長崎、宮崎、鹿児島各県

担当：病虫 G・小塚